

婚活世代の出会い・恋愛…

# 本音は「結婚」 どうでしょう



結婚事情は多様化し

自分の生き方として、結婚の選択肢は増えているように感じます  
実際、結婚活動、いわゆる「婚活」世代の若者は  
結婚をどう意識し、どんな距離感で生活しているのでしょうか  
県内の男女5人の方に、話をさせていただきました

司／まずは、それぞれの結婚観を聞かせてください。

長／小学生のころは、23歳で結婚、30歳を過ぎたら子どもを産まないと考えていました。でも21歳になって、それは無理だと分かってきました。22歳で就職して、1年後に結婚はちょっと…と、現実が見えてきました。遅かれ早かれ結婚はしたいと思います。ただ憧れはあるけど、この人という人が出てきたらするということだけで、どうしてもしなくちゃとは思っていません。

今／あんまり深く考えたことがないですね。特に若いときは考えてなかった。女の人と付き合っても、結婚までは意識していなかったし、30歳までは遊んでいるのが楽しかった。でも今はしたいですね。結婚に対して幻想を抱いている(笑)。理想は一生一緒にいたいし、結婚は人生に1回のこと、失敗できないと思っているんです。ただ周りで結構失敗している友だちを見ていて、結婚に幻滅もしているんですよ。とにかく20代は結婚よりも大事なものがあって、**結婚は付き合った先の結論のひとつ。**

笠／子どもから見て若い親の方がいいなあと思っていたので、さっさと結婚したかったけど、そのまま流れてきてしまいました。  
長／あっ、わたしも若いお母さんでい

たいと思つてます。

笠／そう、今も早く結婚したいけど、付き合うことになってもすぐに結婚までは考えません。

司／結婚のための恋愛はしないということですか。

笠／そうですね。僕も付き合っている中でそういう人が出てくるかもしれないけど、最初から結婚を考えることはないです。

杉／この人だったら一生添い遂げてもという人が出てきたらしてもいいかも。将来はどうなるかわからないけど、今は自分のやりたいことが優先。基本的にやりたいことはやりたいタイプなので。今も恋愛より学生生活が楽しいです。

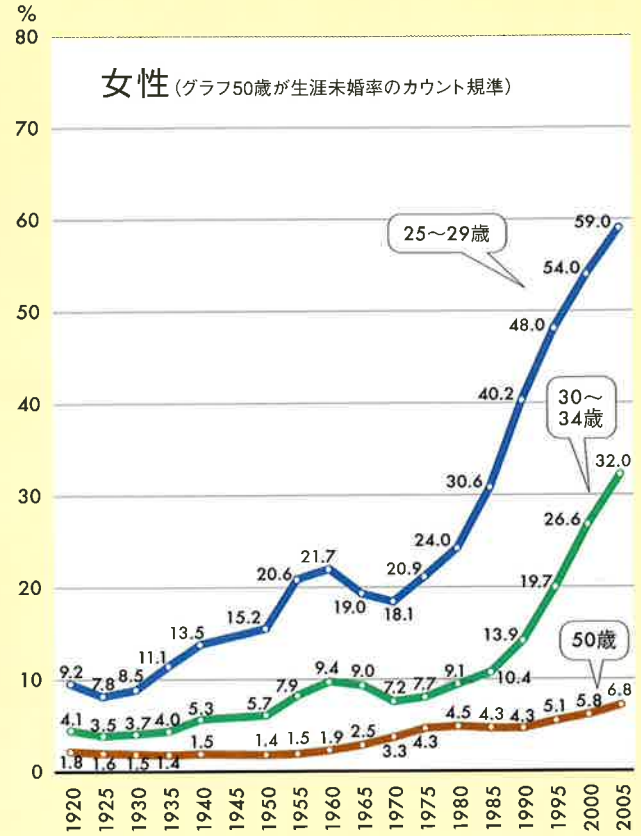
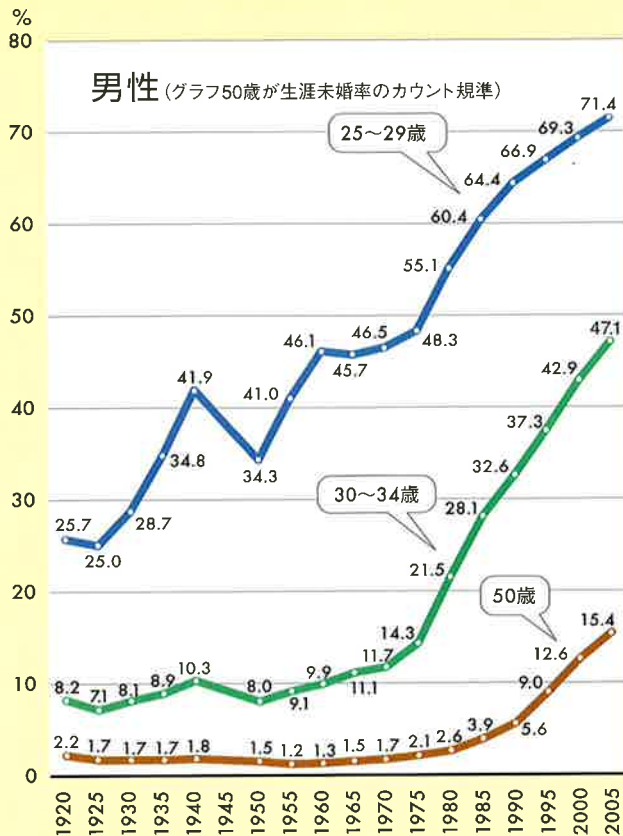
牧／何かきっかけがあったり、いい人がいたらいつか結婚したい。学生の頃は漠然と、28歳でしていると思つてました(笑)。全然根拠はないですけど。今まで何となくきてしまったけれど、自分が歳を取ってくると、結婚ってリアルじゃないんですよ。女友だちは今結婚ラッシュです。18、19歳で第一波があつて、今が第二波。男友だちはまだそうでもないかな。広告デザイン関係者の結婚は遅いですね。仕事の時間が長いからかな。

結婚します。

結婚しません。

### 年齢別未婚率の推移

注：50歳時の未婚率は「生涯未婚率」と呼ばれる。資料：国勢調査、人口統計資料集(社会保障・人口問題研究所 2006年)



司／ネットなどコミュニケーションのツールは増えていると思いますが、実際に「出会いの場」はありますか。

牧／仕事場は女性だけで、お客様も先輩の方が多いので、職場での出会いは皆無です。友だちとかの紹介がないと。

杉／大学では、講義や部活、サークルなどで出会いがあるとされます。

長／わたしの大学は女性が多いし、高校から付き合っている人もいて、あまり出会いはありません。サークルなどに入っていれば違うかもしれないですけど。

司／最近「婚活」という言葉があります。「結婚活動」の略ですが、自分のことであってはまることはありませんか。

今／お見合いパーティーは、先輩に誘われて何回か行きました。それで結婚した先輩もいます。青年団の活動とか「青年の船」などで出会いはあるので、特に積極的ではないかな。結婚している人の話がいいことばかりではないので。ひとりの気軽さもいいけど、将来や長男という自分の条件を考えると、親のプレッシャーもあるし、結婚して子どもを持つとか考えますね。近所の方から紹介しましょうという話もあるけど、初めて会って付き合いたいとは思わないタイプなので。何回か会ううちにいいなあと思うようになるほうがいいなあ。

笠／友だちがお見合いパーティーに



**牧田 佳子さん**  
MAKITA YOSHIKO  
静岡市 25歳  
家族構成／父、母、弟2人  
職業／会社員(企画会社勤務)



**長谷川 里美さん**  
HASEGAWA SATOMI  
焼津市 21歳  
家族構成／父、母、姉、兄  
職業／静岡英和学院大学  
人間社会学部 地域福祉学科 4年



**杉井 円さん**  
SUGI MADOKA  
静岡市 21歳  
家族構成／父、母、弟  
職業／静岡大学人文学部  
言語文化学科 3年

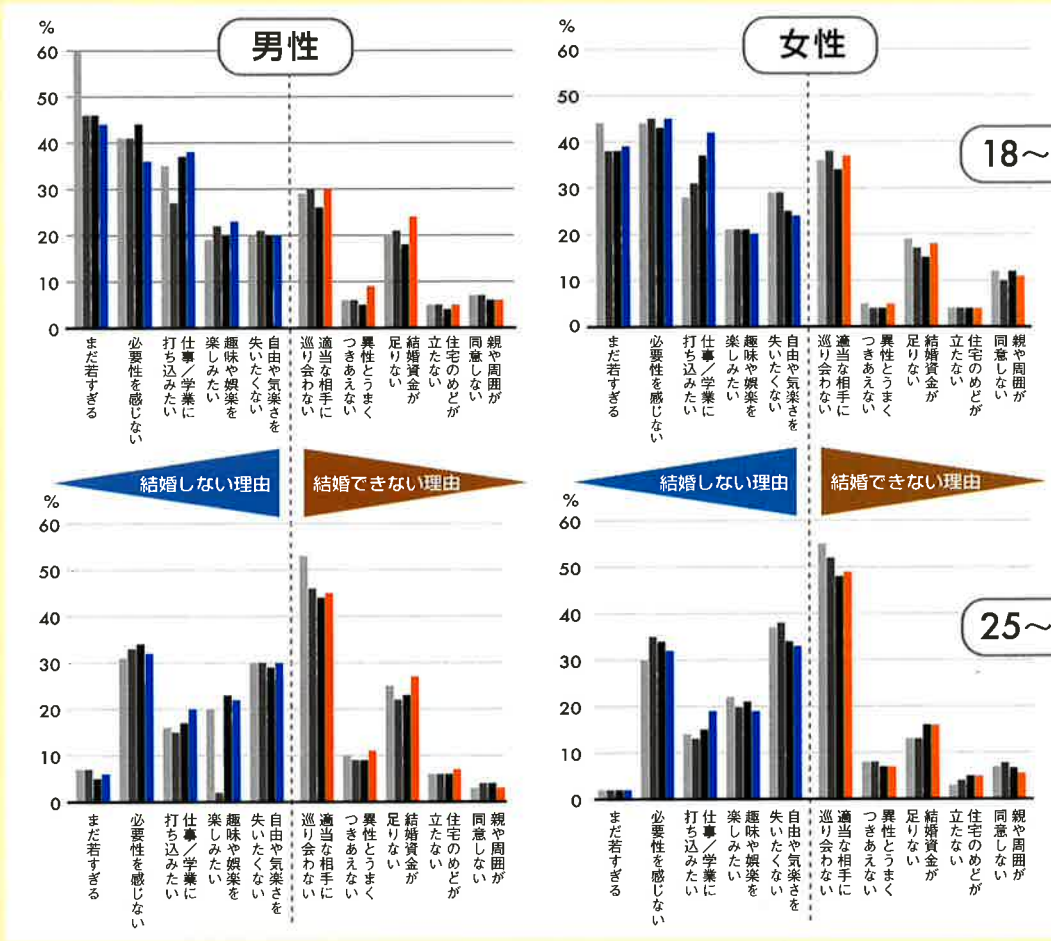


**笠井 郷さん**  
KASAI GOU  
富士宮市 28歳  
家族構成／父、母  
職業／自営業(建築業)



**今駒 晃芳さん**  
KONMA TERUYOSHI  
掛川市 39歳  
家族構成／母  
職業／会社員(技術職)

# 年齢別階級別にみた独身にとどまっている理由



第10回調査(1992年)  
第11回調査(1997年)  
第12回調査(2002年)  
第13回調査(2005年)



出典：第13回 出生動向調査／国立社会保険・人口問題研究所 2005年  
注：未婚者のうち何%の人が各項目を独身にとどまっている理由(3つまで選択)として挙げているかを示す。

行った話は聞きますね。ああ、自分もそんな歳なんだと思うけど。まだ焦らなくても考えてます。

牧/出会いがないから、わたしは行ってみたい。最近、若者に出会いがないから、国をあげて合コンパーティーをといて話もあるようですね。近所からお見合いを勧められることもないです。出会いはないですね。

笠/mixiとか確かに出会いの場はあると思う。パソコンでは文字だけの付き合いで、それ以上にはならない。

司/メディア的には出会いは増えても、それがかえって人同士の距離をつくたというか、緊張感が薄れたのかもしれないですね。

牧/あるかもしれないですね。携帯電話などで、簡単に連絡がとれすぎて盛り上がりや「待つ」ということがなくなっているかも。

長/「婚活」について言えば、わたしは結婚したいとは思いますが、受け身なので、すぐパツと動くタイプではないです。ただ、そのときの生活が充実していたら、しなくていいと思うかもしれません。牧/でも結婚はタイミングを逃すと大変ですよ。高齢出産は危険なので、早めにしたほうがいいと思いました。友だ

## キーワード集

### 結婚の多様化

結婚の基準は時代によって大きく変化している。従来、結婚はしなればならないものであったが、その認識が変化するにつれ、多様な結婚の様式が容認されるようになった。例としては、「できちゃった婚」と呼ばれていたものが、「おめでた婚」と呼ばれるようになったことが挙げられる。

### パックス法

フランスで1999年11月に成立した法律。同性愛者の容認のために作られたもので、簡単に言えば、同様と結婚の中間的立ち居地を作り出した。ただ、異性愛者にも適用されるため、同性愛者にも関係の選択の自由があるべきだとして、結婚の容認による権利の平等化を求める声も始めている。



結婚します。

結婚しません。



ちでお母さんが40歳の時の子がいて、命がけて生まれてきた話を聞いたので。簡単に歳って取れるんですね。結婚もしたいし、子どもも欲しいです。なんていうか職場に男性がいたら、また違うのかなって。会議なんか男性がいないと、雰囲気はほんわかするんですよ。今/子どもといえば、「できちゃった婚」も僕のまわりではいまいち続いてないです。女性の再婚も少ないですね。特に子どもがいると難しいみたいです。とにかく若いときは広く浅くみんなと付き合いの方がいい。あと、まわりからは若い内ならやり直しがきくから、早くした方がいいといわれたこともありました。笠/会社の人たちを足しての合コンはありませんね。

牧/ありますね。彼氏がない人で集まって企画したりします。でも飲み会で終わってしまうことが多いです。もちろんそこにいる人がいたら別ですけど。学生のころは気楽だったけど、歳を取ってくると一回一回を大事にしようとする。友だちの話では、事前に写メールで参加者のチェックをすることがあるそうです。杉/ちゃんと付き合ったことがないので、結婚や恋愛に慣れてはいるけど、自分から一歩出ることはないですね。司/やりたいことと恋愛の両立はできないのでしょうか。杉/そういう状態になったことがないのでわからないですけど、付き合ったらそちらに時間を割かないといけませんよ。その時間があるなら、自分のやりたいことをしたいです。長/合コンには一回だけ行ったことがあります。今、彼はいます。でも結婚は考えていません。就職もまだわからないし、二人暮らしもしてみたいです。杉/結婚は、しないならしなくてもいいと思ってるけど、子どものことを思うとちょっと考えるかな。今/そうだな、僕の場合相手がバツイチは構わないけど、子どもがいたら少し立ち止まって考えてしまうかも。子どもとちゃんと向き合えるか不安があるから。笠/その場になってみると、どう接することができるか自分もわからないですね。相手のことを考えてあげたい気持ちがあります。

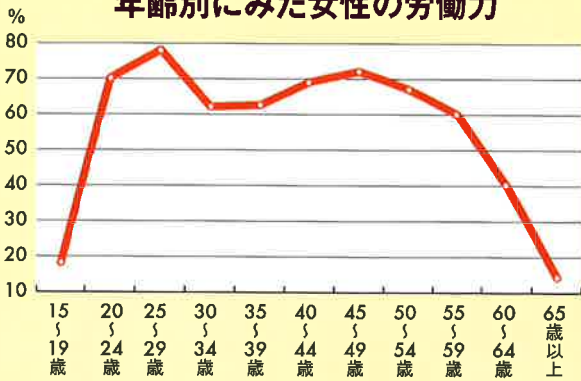
■婚活  
結婚するための活動。就職活動の略である、「就活」をもじって作られた言葉。  
現在は結婚するために努力が必要だ、という事実を端的に表現している。

■ワーク・ライフ・バランス  
労働者が高い意欲を持って心身ともに充実した状態で働き、仕事の成果を十分に発揮しているようにするために、「仕事と生活の調和」を重視する考え方。

■育児休暇の多様化  
特別な事例を除き、子どもが1歳になるまで取得可能な休暇。取得要件は1年以上の同一雇用主による雇用と、子どもが1歳以上になっても雇用が見込まれること。法的には男女共に取得可能であるが、旧来、女性のみのもと考えられてきた。しかし、最近では、結婚の多様化により、男性の取得に対しても社会的認知がされるようになってきている。



## 年齢別にみた女性の労働力



注：年齢別女性人口に占める労働力人口の比率。(総務省統計より、2005)



司／結婚と子育て、そして仕事、このバランスはどう考えますか。

牧／子どもに手のかかる時期は仕事をやめて、中学生になったころからパートで戻る人が多いですね。私はまだ仕事や子育てに対して具体的に考えたことはありません。相手とは理解し合っていないと思います。でも子どもが小さいうちは仕事をやめて、家で子どもを迎える親になりたいです。母親がそうだったので。家においてくれるのがうれしかったから。周りで悩んでいる人がいますね。働きたいけど子どもは欲しいという事です。

笠／本人が仕事をやりたいのであれば協力したい。ただ、僕は自営業で、相手は事務関係で仕事を支えてくれる人と考えているので、結婚した相手がそれまでの仕事を続けるということについては考えたことがなかったですね。

牧／話し合いですよね。もし仕事と出産で迷うならわたしは出産が大事です。

杉／どちらが優先かは分からないけど、子どもを産んでも専業主婦になるつもりはな

いです。私の場合、両親が共働きだから、それに慣れているのかもしれない。

今／最近では婚養子も多いらしいですね。40歳ぐらいになると少し抵抗がありますけど。長男でも兄弟がいれば先に結婚した者勝ちみたいです。結婚で

きないよりした方がいいから、それもいいんじゃないかと親から言われることもありますけどね。

司／これは架空の話ですが、もし結婚制度として子どもが成人したら自動的に離婚できる制度があるとしたらどうでしょう。新しい相手と再婚してもいい。もちろん今までの相手と更新してもいいとしたらどうでしょうか。

今／男性陣は結婚生活に対する意識が変わると思う。女性と再契約してもらえるように気を使うのでは。歳を取って一人暮らしをするのが寂しいから、全力で奥さんに気に入られようとするでしょう。今は簡単に別れられないと思っているから高をくくっているでしょう。

牧／更新できるならあってもいい法律だと思います。

長／更新できるならいいかも。イヤイヤ結婚したらラッキーだし。両親の様子を見るとそういう法律があってもいいかとも思います。二人きりの生活になったら、お母さんがピリピリしそ

## ■保育サービスの多様化

仕事を続ける障害になっていた保育の問題は様々なサービスの充実により、改善されつつある。企業が育児所を整備する、保育園などによる夜間保育の充実、ファミリーサポートセンターなどの地域ぐるみの保育の促進などがその実例として挙げられる。

## ■熟年離婚

夫が定年間近、もしくは定年を迎えた時期の夫婦の離婚のこと。近年、増加傾向にある。また、そのほとんどは妻からの申し立てによるもの。



## ■おめでた婚

妊娠したカップルが、妊娠中、もしくは出産後に子どものお披露目も兼ねて結婚式を挙げる。状況としては、「できちゃった婚」と同様だが、批判的な意味合いは薄れている。



結婚します。

結婚しません。

## いまどきのお見合い事情

# エプロン姿でお見合い!!

今年3月、静岡市内で「ラバース キッチン」と銘打ったお見合いパーティーが開かれました。主催者は「ワーカーズコープ さらだぼーる」代表の山之上友代さんと「ネクステージ企画室」代表の大原美千代さん。

今回の特徴は一緒に料理を作ること。第一印象で判断しがちな従来のお見合いパーティーとは違う、出会いの場を目指しています。参加条件は28歳以上の独身男女。当初の予想を上回り、32人が参加しました。

参加者は全員エプロン姿で、ピザやクリスピーチキンなどを調理。初めの戸惑いも徐々に消えて、いい調子に。ついに料理が完成し、ワインで乾杯。

「共同作業したことで、連帯感がわき、美味しい料理に満足して、会話も弾みました。自己紹介では、みなさん立派に話していました。容姿もよくて、落ち着いていて、出会いの機会さえあれば、素敵な家庭を築くことができる方々だと思いました」と山之上さん。

今の結婚環境について大原さんは「女性は、親と同居していると居心地がよくて、今更結婚なんてと思ってしまいがち。その上、仕事場に結婚対象になる男性がいなかったり、結婚を考える気持の余裕がなかったり、なんとなく後回しになっているようです。男性は、仕事時間が長くて結婚に気持ちが回らないと同時に、出会いの場が少ないということでしょう」。

後日、参加者の紹介者より、結婚を前提に付き合い始めたとのうれしい報告がありました。また参加者はそれぞれ携帯電話の番号やメールアドレスを交換して、積極的に婚活していました。

次のラバースキッチンは今10月26日に開催します。

<http://loverskitchen.eshizuoka.jp/>



うだし、逆に別れてお父さんの良さが見つけられたらいいなあ。笠／更新ありならいいかも。ただ結婚とやりたいことのどちらが優先なのかとも考える。杉／更新ありならいいかもしれないけれど、老後はどうなるんでしょう。子どもはあんまり面倒をみてくれないだろうし、逆に歳を取って高齢になってから再婚ラッシュがあるかも。

牧／もしかしたら逆に結婚する人が増えるかもしれないですね。契約というカタチで気持ちがお楽になる気がするから。目安があると違うかもしれない。でも20年は長いかな。

### ■生涯未婚率

50歳までに一度も結婚したことがない人の割合。2000年のデータでは、男性12.4%・女性5.8%であるが、上昇傾向にあり、今後未婚化が進行すると見られている。



### ■パラサイトシングル

生産年齢に達した者が、親と同居した状態で、経済的に依存し就業している、もしくは未就業である状態。類義語に、「ニート」などが挙げられる。

### ■少子化

合計特殊出生率が2.1%を長期間下回っている状態のこと。現在、日本は1.34%(2007年)であり、完全な少子化傾向にあるといえる。

